

理論と実践

－夏休みの宿題を研究する－

このタイトルを読んで、難しそうな読み物だなと思ったかもしれません。心配しないでください。最後を読んだとき、きっと笑っているはずですよ。

日本の学校では、夏休みにたくさんの宿題があります。すぐ始める人、最後までやらない人、いろいろな人がいます。私は計画を立てて行動することが好きなので、まず、宿題のスケジュールを作ります。しかし、必ずスケジュールよりも遅れるので、毎年イライラします。そして、私は好きな教科を先に、嫌いな教科を後にやるタイプなので、嫌いな勉強が最後に残って、宿題が嫌になりました。

では、どうして夏休みの宿題は最後に残ってしまうのでしょうか？

答えは、人間は少し先のことについて、7つぐらいしか覚えることができないからです。そして、すぐにやらなければいけないこと、楽しいことを先にやろうと考えてしまうからです。

記憶には2つの種類があります。1つ目は長期記憶で、長い時間覚えている記憶です。これは、電話番号や住所のような自分の情報、自転車の乗り方、おいしいレストランなどの記憶です。つまり、生活に必要な記憶、体が覚えている記憶、おいしい、楽しい、悲しいなどの気持ちと一緒に覚えている記憶で、ずっと忘れ

ません。2つ目は短期記憶で、すぐ忘れてしまう記憶です。これは、今日の予定、初めて会った人の名前、夏休みの宿題などの記憶で、必要がなくなったらすぐ忘れてしまいます。

人はこれから何をするか考えながら生活をしています。今日は何をしようかなと考えたとき、【顔を洗って、朝ごはんを食べて、服を着替えて、歯を磨いて、テレビを見て、友だちに連絡をして、友だちと遊んで…】とスケジュールを立てます。このとき、7つぐらいしか覚えられないので、すぐにやらなければいけないことを記憶します。夏休みの宿題は今日やらなくてもいいので、このときの記憶の中に入りません。そして、記憶は楽しいことを先に選ぶので、【友だちと遊んで、家に帰って、昼寝をして、アニメを見て、ご飯を食べて、お風呂に入って、ゲームをして…】とまた新しいスケジュールを立てます。夏休みの宿題はあまり楽しくないので、このときの記憶の中にも入りません。夏休みの終わりになって時間がなくなると、心配、不安、怖いという気持ちが強くなり、夏休みの宿題が記憶の中に入ってきます。それで、夏休みの終わりに宿題をやることになります。



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

ある小学校6年生の男の子が夏休みの宿題を最後までやらなかったとき、自分と家族はどういう反応をするのか実験をしました。男の子はこの実験を夏休みの自由研究として、作文にまとめました。

【1日目】

夏休みも始まり、楽しい気持ちで、宿題のことは全く頭の中にない。

【2日目から4日目】

キャンプへ行った。楽しくて、宿題のことは全く頭の中にない。

【5日目から8日目】

プールに行ったり、ハチの巣を見に行ったりして、毎日楽しすぎて、宿題のことは全く頭の中にない。

【9日目から13日目】

お祭りに行ったり、プールに行ったりして、楽しすぎて、宿題のことは全く頭の中にない。

【14日目から18日目】

100km 歩く旅に出発。旅が大変で、宿題のことは全く頭の中にない。

【19日目から22日目】

キャンプや海に行ったり、おばあちゃんや友だちの家に泊りに行ったり、バーベキューをしたり、花火を見たりして、楽しい時間を過ごした。しかし、少しずつ夏休みが終わるといふ怖さを感じてきた。

【夏休み残り 3 日】

本当は、朝早くから夏休みの宿題をやらなければいけない。しかし、僕は自由研究のために、宿題をするわけにはいかない。なぜか、僕の弟も全く宿題をやっていない。大丈夫だろうか。

【夏休み残り 2 日】

宿題をやらずに学校に行って先生に怒られる夢を見た。朝、この夢で起きた。もう限界だ。変な汗が止まらない。

* 家族の反応 *

【おじいちゃんとおばあちゃん】

「うそでしょ？終わるの？」と言う。

【お父さん】

笑いながら「お父さんも夏休み最後の日に泣きながら宿題やってたな」と言う。

【お母さん】

お母さんに毎日「宿題終わったの？」とうるさく言われていたが、「やってるよ」とうそをついていたことがバレて、とても怒った。怒って、お皿を 1 枚割る。
(しかし、僕には研究があるので、宿題を終わらせるわけにはいかないのです。わかってください。)

【弟 (小学生)】

彼も全く宿題をやっていない。大丈夫だろうか。彼が宿題をやらない理由がよくわからない。

【弟（保育園児）】

彼はまだ小さいため、宿題の意味がわからない。

【亀などのペット】

心配そうに僕を見ている。かわいいな。

【夏休み最後の日】

よく眠り、朝 10 時過ぎに起きた。なぜだろう、夏休み最後の日にもかかわらず、気持ちいい朝がきた。宿題は全く終わっていないのだ。なぜか先生に怒られる夢も全く見ない。もしかして、やっていかななくても怒られないんじゃないか？とすら思えてきた。

そもそも宿題とは、何のためにあるのか。

僕は、何のために生きているのか。

命は何のためにこの世に生まれてきたのか。

なぜ人は争うのか。

午前中は何もやる気が起こらず、弟の宿題を手伝ってみた。

午後、お昼ご飯を食べ終わり、自分の宿題が全く終わっていないことに気がつく。

なぜだろう。吐き気が止まらない。宿題を始める。自由研究のためとはいえ、こんな研究を始めてしまった自分に腹が立つ。

過去に戻りたい…

過去に戻りたい…

過去に戻りたい…

過去には、戻れない。

やるしかない。

やるなら今しかない。

涙が止まらない。

過去に戻りたい…

家族の反応

【お父さん】

笑いながら「お父さんも夏休み最後の日に泣きながら宿題やってたな」と言う。

【お母さん】

目が合っても何も言わない。

(もしかして、僕は大変な研究を始めてしまったのではないだろうか…)

【弟(小学生)】

午前中、すごいスピードで宿題をやり始めている。

午後、友だちと遊びに行く。

(彼のこの余裕はどこからきているのだろうか。まさか、彼もこの研究をやっ

ているのではないだろうか。)

夜、泣きながら宿題をやっている。

(もしかすると、この研究は僕がやらなくても、弟を研究すれば結果がわかったのではないだろうか。)

朝

宿題が終わった。

学校に行こう。

完成

自分で自分を研究することも楽しいですね。

(2527 字)

(2022.8 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「NHK チコちゃんに叱られる」ウェブサイト「▽チーズの不思議 ▽卵の謎 ▽夏休みの宿題がギリギリ」

<https://www.nhk.jp/p/chicochan/ts/R12Z9955V3/episode/te/L1KP1NQ2J4/>

- ・「FNN プライムオンライン」ウェブサイト「『なぜ人は争うのか』…小6が挑んだ“夏休みの宿題をあえてやらない”自由研究でたどり着いた境地」

<https://www.fnn.jp/articles/-/14343>

(2021.10.7 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.